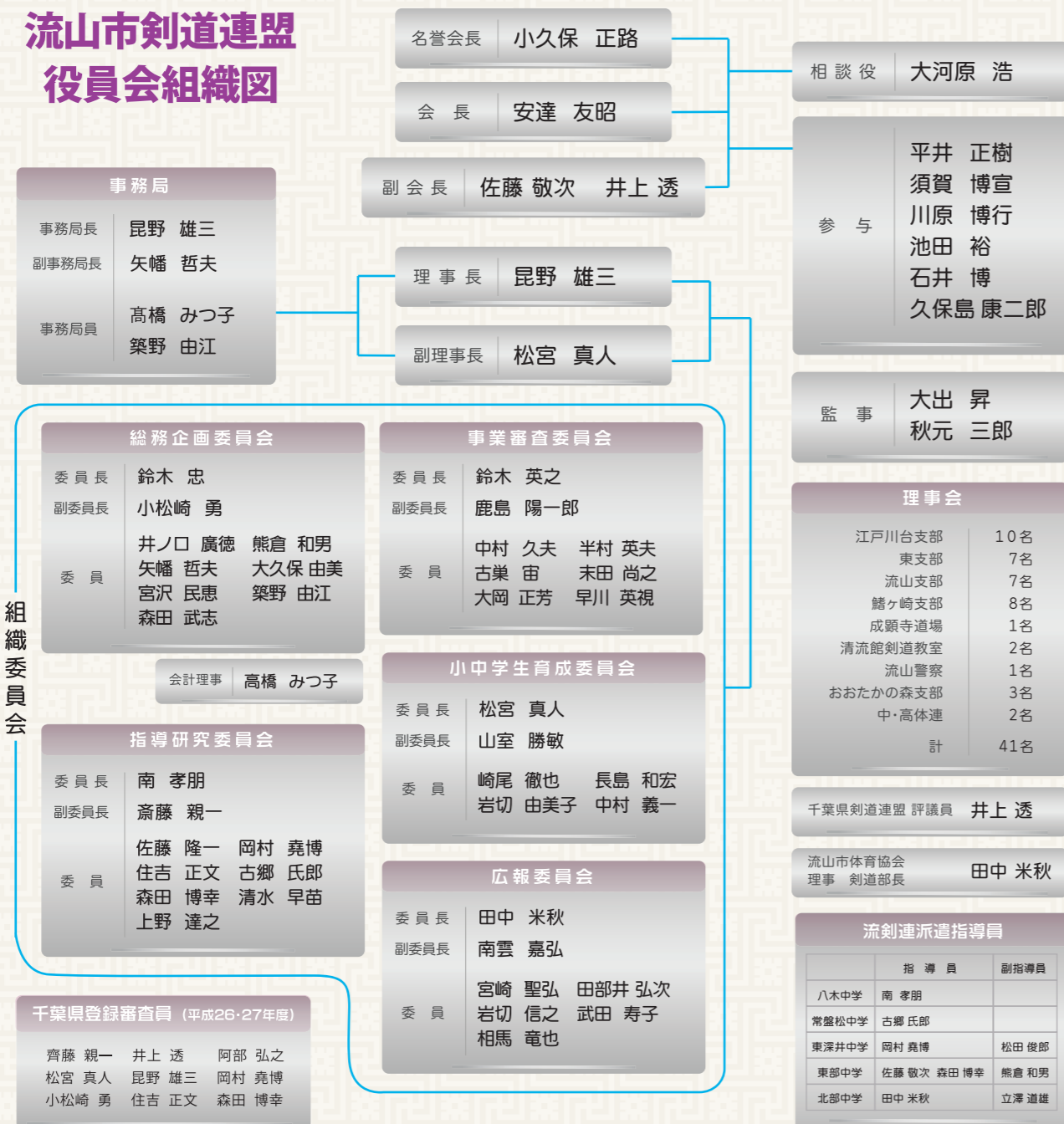


- 第五十一回 関東小学生剣道錬成大会 結果**
平成二十六年四月十三日 日本武道館
- 優勝** 神合 俊希 (中一 流警剣)
- 三位** 関 海人 (中一 流警剣)
- 優秀賞(ブロック二位)**
和田 健 (中一 清流館)
鈴木 颯太 (中一 清流館)
鈴木 翔介 (小六 江戸川台)
海老原 光希 (小五 東)
森田 美咲 (小四 東)
吉田 純一郎 (小四 緒ヶ崎)
- 優良賞(ブロック二位)**
野見山 太樹 (小六 緒ヶ崎)
相馬 秀仁 (小五 流山)
浅見 駿音 (小四 流山)
相馬 康太郎 (小四 緒ヶ崎)

流山市剣道連盟 役員会組織図



八段審査合格を振り返って 緒ヶ崎支部 南孝朋



私が剣道を始めたのは、昭和三十三年中学入学の時でした。当時はフェンシングのプロテクターのような防具を着け袋竹刀で相互の打ち数を競う竹刀競技と今の剣道と同じ防具を着けて行う剣道との二種類の稽古を行っておりました。以来高校・大学・実業団から現在までずっと剣道を続けて来ました。昇段審査は七段まで比較的順調に昇段することが出来ました。五十歳の時から八段を受審するようにになり、今年で丁度十九年目。数えて二十一回目の挑戦でほんとうにやっと合格することが出来ました。しかし、この十九年の間には何度も八段挑戦を止めようと思ったことがありました。最初は六十歳になった時でした。もう無理なのかな...と。そして、その後も何度かそんな気持ちになり止めようかと思うこと



がありました。でもその度に、「目標を持ってやらなければ、稽古に熱が入らなくなる。工夫や改善をしよう」と努力することもしなくなる」との思いに到り毎年一回挑戦し続けてきました。そしてようやく、昨年十一月の受審で運よく八段合格の栄誉を掴むことが出来ました。今回の審査を振り返ってみると、一次審査では相性のいい相手に恵まれ自分でも思うような立ち合いが出来たと思えます。二次審査ではいつも時間調整が上手くいかず集中力が欠けてしまっているような立ち合いが出来ませんでした。そのために今回は以前の失敗を繰り返さないように、①自分の間合でやる。②自分の得意技を出す。③決して慌てて打たない等気を付けて立ち合いをしように心がけました。その結果無心で立ち合え、一人目二人目とも初太刀を取ることが出来ました。それによりさらに落ちていく立ち合いが出来たのがいい結果に繋がったのだと思います。これからは健康に留意しながら出来るだけ長く剣道を続けていけるよう頑張りたいと思っております。今後鞭引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

南先生の八段昇段祝賀会が四月六日(日)にナプシヤルズ南柏で開催されました。県を挙げてのめでたいことであり、千葉剣道連盟の川畑会長、松戸市剣道連盟の岩立名譽会長、相馬市剣道連盟の阿部会長等そうそうたる先生方にご参列いただき、祝賀会は盛大に行われました。

南先生 八段昇段祝賀会



特に、南先生の昇段審査の二次審査の様子がビデオで放映されると、一人目の「初打ちの面」、二人目の「初打ちの小手」では一斉に拍手が起こり会場は興奮の熱気に包まれました。(田中)



平成 25年度

卒業文集

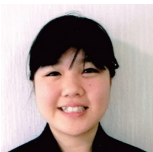
ご卒業おめでとうございます！

あ あつという間の四年間でした。凛とした道場の中に厳しさ優しさがあふれているお稽古が好きでした。時には悲しい時もあつたけど、嬉しく楽しい事も沢山ありました。本当に有難うございました。



江戸川台支部 小沼 葵

今までたくさんさんの御指導を頂き、有難うございました。先生方から教えて頂いた事を忘れず、「無理はしてもいけないが無茶はしない」、この精神で中学校でも頑張ります。



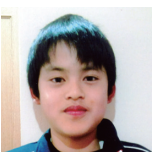
江戸川台支部 堀 美咲

僕は、二年生の時に剣道を始めました。最初は、稽古がきびしくて、「やめたい」と何度も思っていました。けれど、友達が「一緒にがんばろう」と支えてくれたので、だんだん剣道が好きになりました。中学でも剣道を続けたいです。



東支部 三浦 息吹

僕は、剣道を保育園の年長から始めて七年間やりました。剣道では、気持ちで負けてはいけないということを学びました。気持ちで負けてしまつと、試合も負けてしまいます。中学に行つても気持ちで負けないようにがんばっていきます。



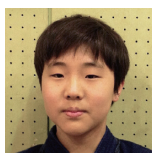
東支部 塚越 一登

僕は、一年生の時から剣道を始めました。なかなか勝てず、自信を失くしたとき、ぼくを信じてくれた先生やある先輩の言葉があつて、ここまで来れたのだと思います。ぼくは、今までの思い出を「がんばる」というのを目標にしていきたいです。中学でもがんばりたいです。今までありがとうございました。



東支部 杉原 晶太

ぼくは、剣道をやって、心が強くなったと思います。前はすぐにあきらめることが多かったけれど、剣道をやってからあきらめることが少なくなりました。剣道の先生におおらかなこともあり、泣いたこともあつたけどそれが今では良かったと思います。今でも学んだことを生かし、中学校でもがんばります。



緒ヶ崎支部 吉田 健吾

僕は一年生の時から剣道を始めました。剣道をやり続け、五年目の事でした。強化の松宮先生に会い、自強不息(じきょうふそく)の手ぬぐいをもりました。保護者の皆さん、先生方、ご指導いただき、誠にありがとうございました。



江戸川台支部 増淵 浩大

僕は、まだ剣道を始めたばかりですが、あきらめずに頑張りたいです。中学校では、部活の面でも、勉強の面でもちゃんと両立させて行きたいと思っています。中学校でも剣道を続けて行きたいです。



江戸川台支部 福島 泉樹

僕は、三年間剣道をやって、自分に強くなりました。僕は三年の秋に江戸川台支部に入りました。そこで剣道はどんなものかを知りました。剣道をやって辛いこと、楽しいこと、悔しいこと、全てを知りました。色々な行事もありました。風船割り大会や創立記念大会等でも色々な事を知りました。これからも剣道を続けたいです。



江戸川台支部 戸塚 勇希

私は三年生から始めました。諦めない・努力する事の大切さなど色々な事を先生方に教えて頂きました。継続は力なりの言葉を信じてこれからも頑張っていきたいです。本当に有難うございました。



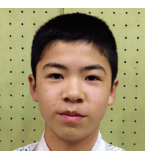
江戸川台支部 小原 祭

剣道で楽しかったことは、けい古が終わつてからやったお楽しみ会などです。辛かったことは、年明けに江戸川の土手を走つたこと、冬は、はだいで寒かったことです。中学校に行つてもがんばります。



流山支部 小林 拓海

僕が剣道をやり始めたのは小3の時でした。初めは、難しかったけれど、先生方のご指導により楽しいものとなりました。礼儀なども身につけ、普段の生活でもできるようになりました。これからも剣道で学んだことを生かし、頑張ります。



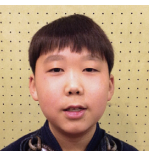
緒ヶ崎支部 伊藤 芳治

四年生から始めて、まだ防具をつけていないころ、早ぶりのタイミングをつかめなかったのは、「やめる」といつて泣いた。その時、先生方、「おまはまだ楽しいところまできてないよ」と言われました。その言葉が支えとなりこれからも剣道を続けたいと思います。



緒ヶ崎支部 伊藤 優作

ぼくは、剣道をやっていてたくさん学んだことがありますが、その中でも礼儀を大切に教わりました。礼儀は、ふだんの生活の中でも大切で、改めて、礼儀の大切さを知りました。中学に行つても、剣道をやるか、やらないかわかりませんが、これからも礼儀を忘れずにしたいです。



緒ヶ崎支部 木村 颯汰

ぼくは運動や手先を使う事が苦手で、何事もすぐに投げ出していました。剣道に入つて、いやだなと思うこともあり、手ぬぎをするのもありましたが、防具を着ける時にうらやまがらそむいていると、先生がききつけてくれて、毎日家で防具付けの練習をしました。いやでしたが、着られるようになったので良かったです。これからは苦手な事も投げないでがんばりたいです。



緒ヶ崎支部 森山 卓晃

ぼくは、二年間剣道をやってきました。二年間を通して、ぼくは色々なことを学びました。それは、先生方が注意や、色々なことを教えてくれたからです。ぼくは、これからも剣道を続けて、色々なことを学びたいです。



成頭寺道場 八木野 柊汰

幼稚園から剣道を始めて、たくさん思い出があります。清流館、強化、出稽古させて下さった江戸川台と多くの先生方にご指導いただきまして本当にありがとうございました。これからもずっと剣道を続けていきたいと思っています。



清流館剣道教室 鈴木 颯太

僕は、二年生から剣道を始めました。優しい先生方や明るい仲間たちのおかげで、五年間、夏の暑さや冬の寒さに負けずに続けられました。中学生になつても剣道で学んだ礼儀や感謝の気持ちを忘れずにがんばります。



清流館剣道教室 曾我 敬将

僕の周りには剣道が強い人が沢山います。試合もすぐ負けてしまい僕は追いつく様、けい古を頑張りました。今では対等に戦えるまでになりました。剣道を習つて僕はあきらめない心が成長したと思います。



清流館剣道教室 和田 健

防具をつけて稽古をすると、重いし苦しいし辛くて何しても苦しいと思います。でも、同じ支部の仲間といると楽しかったし、先生にほめられたりアドバイスももらつたり嬉しくて六年生まで続けることが出来ました。本当にありがとうございました。



流山支部 石井 俊輔

平成 25年度

卒業文集

ご卒業おめでとうございます！

最初の頃は、防具もつけずぶりだけで楽しかったです。年れいが上がると防具をつけるようになります。重いし痛かったです。でも、仲間がいてくれたのががんばれました。五年生の時に試合で銀メダルをとれた時はすくうれしかったです。



流山警察署少年剣道クラブ 武藤 凛

流剣でけいこをしてるうちに、たくさん他の小学校の友達が出来て剣道が楽しくなりました。さらに、強化でも友達がいたからつらいけいこにもたえることができました。



流山警察署少年剣道クラブ 関 海人

最初の頃練習が辛くて、いやな時もありました。でも試合で勝つた時から、練習が楽しくなり、友達も増え、練習が待ち遠しくなりました。教えて下さった先生、本当に有難うございました。中学でも剣道を頑張ります。



おおたかの森支部 上坂 愛美

僕は、四年の終わりに剣道を始めた。最初、剣道は皆強そうで怖いなと思った。でも、先生の親切な教えで、不安がなくなりました。あれから二年、僕は面を付けても不安を感じない。僕は成長すると不安は克服できる事を知った。



おおたかの森支部 小林 碩文

僕は剣道を始めて四年になりますが、剣道から「諦めない心」等、沢山の事を学びました。今思うと辛いこともあったけれど続けていて良かったです。支部の先生方、そして剣道に感謝して、中学校へ進みたいと思います。



おおたかの森支部 五十嵐 一樹

ぼくは、四年生のときから剣道を始めました。ぼくが剣道を通して学んだことは、悔しさと嬉しさです。試合に勝ったときの嬉しさは、すごい。逆に試合に負けたときの悔しさは、すくうれしい。ぼくは、剣道を通して学んだこの2つのことを今後の生活に活かしたい。



流山警察署少年剣道クラブ 岩井 勇人

ぼくは、四年生の時から剣道を始めて、大会で試合に出たりしても負けた時はすく悔しくて、「次の試合はがんばるぞ」と練習をがんばる。たまに勝つたりしてすくうれしくて、ぼくは剣道を通して練習の大切さを学んだので、中学に行っても剣道の経験を生かしたい。



流山警察署少年剣道クラブ 小比内 蓮

私は、六年間剣道をやってきました。稽古はつらく大変でしたが、試合や部内大会で勝つことができた時から、自信をもつことができました。教えていただいた事を忘れず中学校に生かしていこうと思います。ご指導して下さいました先生方ありがとうございました。



流山警察署少年剣道クラブ 小川 葵

六年間ありがとうございました。剣道やっていてよかったです。一度、あきらめかけた時がありました。自分に自信がないので。でも今は、楽しくやっています。色々ありがとうございました。



流山警察署少年剣道クラブ 柿沼 優樹

僕は、一年生から剣道をやり、始めたころは、試合の選手にもなれずけい古ばかりで、「剣道やだな」と思うこともありましたが、高学年になり大会に出て剣道が楽しくなりました。今まで指導してくださった先生方ありがとうございました。



流山警察署少年剣道クラブ 神谷 俊希



平成二十六年四月二十九日、流山市総合体育館にて当連盟主催の小学生錬成会(練習試合)を開催しました。昨年までは小学生強化メンバーのみを対象として市外団体を招いた同様の会を五年ほど開いてきましたが、今回より流剣連各支部より参加者を募る形に変更し市内からは四十八名の小学生が参加をしました。市外からも二十団体二十四チームが参加、総勢二百名近くの小学生が一堂に会し、盛大に行われました。勝つても負けても試合を繰り返す一日を過ごし、勝敗以外にも学ぶことが多くあったと思います。ご参加頂いた市外の各団体より好評のお言葉を多数頂いており、来年以降も引き続き開催できるよう検討して参りたいと思っております。なお、当日早朝よりご協力を頂きました先生方、保護者の皆様に紙面をお借りしてお礼申し上げます。(松宮)

流剣連主催
小学生錬成大会